タンゴヤ株式会社 2022年7月期 第2四半期 決算説明資料

2022年3月 JASDAQ(スタンダード)

証券コード:7126

TANGOYA CO.,LTD.

I	2022年7月期 第2四半期決算ハイライト	p.02
п	2022年7月期 第2四半期決算概要	p.04
Ш	2022年7月期の取り組み進捗状況	p.08
IV	2022年7月期 業績予想·株主還元	p.13



I 2022年7月期 第2四半期決算ハイライト

2022年7月期 第2四半期決算ハイライト

2022年7月期 第2四半期 決算概要

■ 依然として新型コロナウイルスの影響はあるものの、売上高が前年同期比で2.4%増加したことに加えて、原価低減施策の積極推進により売上総利益率が約2ポイント改善したことで、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期を上回る結果となった。

2022年7月期の取り組み進捗状況

- 第2四半期までに2店舗を新規出店。第3四半期以降でも3店舗の新規出店を行う予定となっており、概ね計画通りの進捗。
- オンラインオーダーサービスでの売上高は前年同期比約8%増と順調に推移。
- オーダーニット、レディスオーダーコート等を新たな商品ラインナップとして追加。

2022年7月期業績見通し・株主還元

TANGOYA CO.,LTD.

- 今期業績は概ね計画通りの進捗であり、公表済みの計画は達成の見通し。
- 金銭配当に加えて、今期より株主優待制度の導入を決定。



Ⅲ 2022年7月期 第2四半期決算概要

2022年7月期 第2四半期累計業績

■ オミクロン株を含む新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、売上高は前年同期比で2.4%増、また、原価低減施策の推進により売上総利益率が約2ポイント改善したことで、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれの指標も前年同期を上回る結果となった。

単位:百万円

	2022年7月期 第2四半期	2021年7月期 第2四半期 (累計実績)	対育	対前期	
	(累計実績)	※1	増減額	増減率	
売上高	4,361	4,258	103	2.4%	
売上総利益	2,340	2,202	138	6.3%	
売上総利益率	53.7%	51.7%	_	_	
販売費及び一般管理費	2,104	2,040	64	3.1%	
営業利益	236	161	75	46.6%	
営業利益率	5.4%	3.8%	_	_	
経常利益	238	168	70	41.7%	
四半期純利益	146	114	32	28.1%	

^{※1. 2021}年7月期第2四半期実績については未上場であった為、監査法人による監査は受けておりません。参考値としてご参照ください。

単位:百万円

区分	科目	22/1末	21/7末	増減額
流動	資産	4,411	3,637	774
	うち現金及び預金	1,845	1,334	510
	うち受取手形及び売掛金	409	274	134
固定	資産	2,307	2,161	145
	うち有形固定資産	1,563	1,482	81
資産合計		6,718	5,798	919
流動	負債	3,679	3,052	626
	うち前受金	780	421	358
固定	負債	1,646	1,704	△ 58
	うち長期借入金	821	863	△ 41
負債	合計	5,326	4,757	568
純資産合計		1,392	1,041	351

単位:百万円

			半位 . 日刀口
	2022年7月期 第2四半期	主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	226	税引前四半期純利益 減価償却費 売上債権の増加 たな卸資産増加 未払い消費税等の減少 前受金の増加 法人税等の支払額	231 104 △134 △106 △91 358 △85
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 176	有形固定資産の取得 敷金の差入れ 投資不動産の賃貸による収入	△134 △62 25
財務活動によるキャッシュ・フロー	460	短期借入金の純増額 長期借入による収入 長期借入金の返済 リース債務の返済 自己株式の処分による収入	350 300 △376 △83 230
現金及び現金同等物の 増減額	510		
現金及び現金同等物の 期末残高	1,845		



2022年7月期の取り組み進捗状況

1. 全国の政令指定都市および大都市近郊エリアへの年間3~5店舗の新規出店

2. オンラインオーダーサービスでの販売強化

3. 取扱いオーダーアイテムの拡充

2022年7月期の取り組みの進捗状況

1. 新規出店

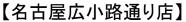
『全国の政令指定都市および大都市近郊エリアへの年間3~5店舗の新規出店』

➡第2四半期までに2店舗を出店、さらに今期中に下記3店舗を出店予定

【第2四半期までの出店】

- ① 2021年10月 GINZA Global Style COMFORT 神戸三宮店
- ② 2021年10月 GINZA Global Style COMFORT 名古屋広小路通り店

【神戸三宮店】







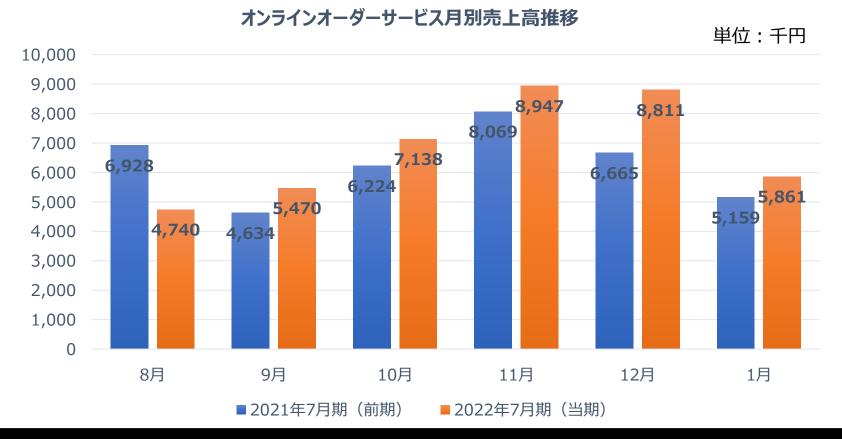
【第3四半期以降の出店予定】

- ① 2022年3月 GINZA Global Style グランフロント大阪店
- ② 2022年4月 GINZA Global Style COMFORT 広島パルコ店
- ③ 2022年5月 GINZA Global Style COMFORT 大宮門街店

2. オンラインオーダーサービス

『オンラインオーダーサービスでの販売強化』

→2022年1月末時点で顧客採寸データ382千人分を保有、8月は緊急事態宣言の影響があったものの、当第2四半期累計のオンラインオーダーサービスでの売上高は約40百万円と<u>前年同期比で8%の成長率</u>となっており、順調に推移している。



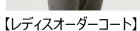
2022年7月期の取り組みの進捗

3. オーダーアイテムの拡充

新たなオーダーアイテムとして、「オーダーニット(メンズ・レディス)」、「レディスオーダーコート」を商品ライン ナップに追加。さらに、3月~キッズ・ジュニアオーダーをスタート。

【メンズオーダーニット】







【レディスオーダーニット】











2022年7月期 業績予想·株主還元

2022年7月期 業績予想

■ 現時点においては未だ新型コロナウイルスの影響があるものの、第2四半期までの受注状況は当初想 定通りに推移しているため、現時点での下記業績予想の修正はございません。 ※既に公表しております、業績予想からの修正はございません。

	2022年7月期予想		2021年7月期		対前期
(百万円)	2022年7月期 予想	構成比	2021年7月期 実績	構成比	増減額
売上高	9,164	100.0%	8,326	100.0%	838
売上原価	4,423	48.3%	4,024	48.3%	399
売上総利益	4,741	51.7%	4,301	51.7%	440
販管費	4,329	47.2%	3,992	47.9%	337
営業利益	411	4.5%	309	3.7%	102
経常利益	430	4.7%	319	3.8%	111
当期純利益	281	3.1%	244	2.9%	37

株主還元について

1. 配当金

当社は、株主各位に対する安定的かつ継続的な利益還元を重要政策の一つとして考えております。将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保の充実に努めるとともに、配当につきましては、業績に連動した利益配分の水準を明確にするため、10%~20%を配当性向の目安に設定し、経営環境や事業戦略、財務状況等を勘案の上、年1回期末に実施していくことを基本方針としております。

2. 株主優待

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の気持ちを表すとともに、当社商品・サービスへのご理解を深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。

対象:毎年7月末日現在の株主名簿に記載された当社株式200株(2単元)以上を保有する株主様内容:当社が運営する国内店舗でのお買い物にご利用いただける、「株主ご優待券」を進呈いたします。

権利確定日	保有株式数量	ご優待券金額	備考
	200株以上	10,000円	
7日士口	300株以上	16,000円	・当社が運営する国内実店舗で1枚につき1回ご 利用いただけます。
7月末日 	400株以上	25,000円	^リカトレレニノニンります。 ・有効期限は翌年9月末日までとなります。
	500株以上	35,000円	

開始時期:2022年7月末日の株主名簿に記載された株主様より、株主優待を実施いたします。

進呈時期および方法:毎年10月に発送する「定時株主総会招集ご通知」に同封いたします。

その他:株主ご優待券のご利用方法等の詳細につきましては、株主ご優待券発送時にお知らせいたします。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点に おける情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではな く、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる 可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

